

台風第24号の影響、伊勢湾台風に比べて小さく ～高潮の発生状況を比較～

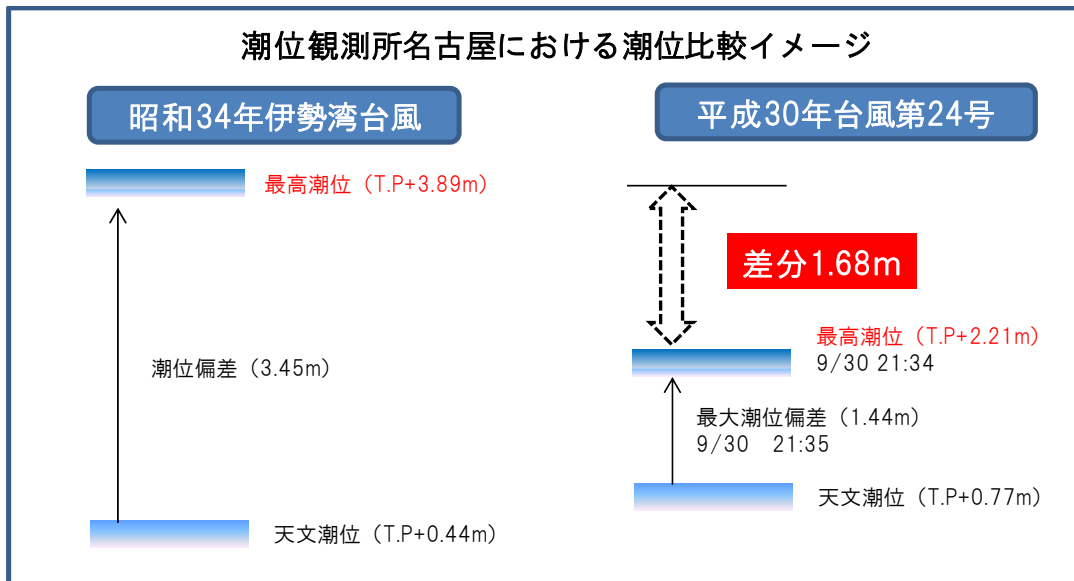
平成30年9月30日に来襲した台風第24号は、名古屋における最低気圧は伊勢湾台風と同程度（伊勢湾台風：958.2hPa、台風第24号：966.2hPa）となりましたが、名古屋港における最高潮位は、伊勢湾台風に比べて1.68m低く、高潮による浸水被害は発生しませんでした。

また、観測された降水量（名古屋：54.0mm^{※1}）としても、伊勢湾台風（名古屋：131.5mm^{※2}）に比べて少なく、洪水氾濫による浸水被害も発生しませんでした。

※1：平成30年9月30日12時～平成30年10月1日1時の降水量

※2：昭和34年9月26日0時～昭和34年9月27日3時の降水量

1. 伊勢湾台風（S34.9.26～9.27）と台風第24号（H30.9.30～10.1）との比較



※平成30年台風第24号の潮位データは速報値（名古屋地方気象台提供）
潮位観測所「名古屋」の位置は、愛知県名古屋市港区港町

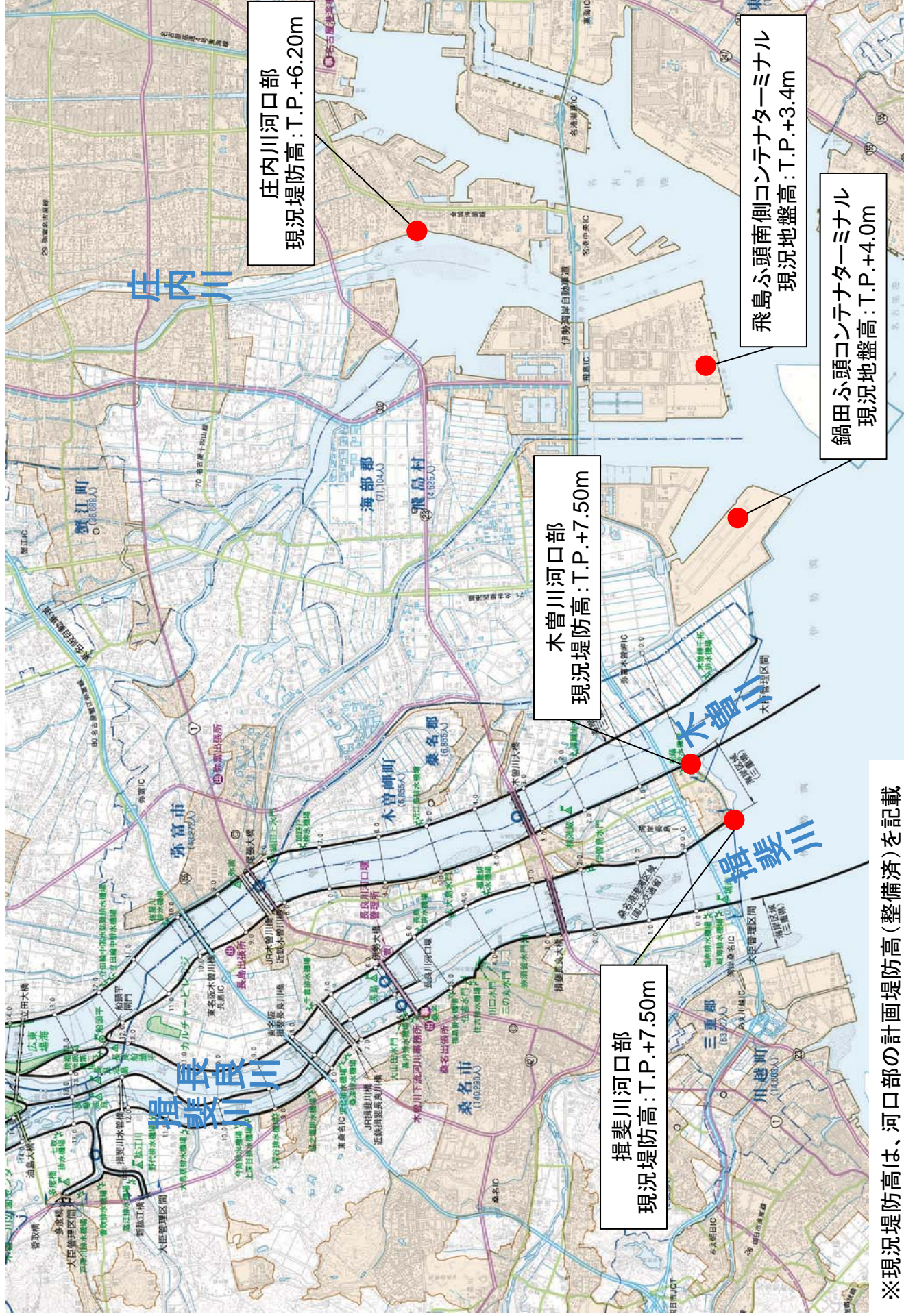
2. [参考] 木曾三川（木曾川・長良川・揖斐川）、庄内川における現況堤防高、及び、名古屋港における現況地盤高

別紙の通り

3. 問い合わせ先

中部地方整備局	企画部	堀江防災課長、新實課長補佐	TEL：052-953-8357
	河川部	池原河川計画課長、細野建設専門官	TEL：052-953-8148
	港湾空港部	堀池防災・危機管理課長、松永課長補佐	TEL：052-209-6328

[参考]木曾三川(木曾川・長良川・揖斐川)、庄内川における現況堤防高、及び、名古屋港における現況地盤高



※現況堤防高は、河口部の計画堤防高(整備済)を記載